

私の生活の一部伝書鳩飼育 第7弾

平成31年1月吉日



今回で7回目の掲載になりますが、鳥の名前はハル7号といいます(別名でハルナ号私の娘の名が春奈と書いてかなと呼びますが愛称でハルナと呼んでいることもあってなづけました) ‘10年春レース700K地区ナショナルレース、埼玉連盟において総合10位の成績でした。全体の羽数は7,000羽ぐらいで特に粘りとスピードが要求されるレースです。飼育者は日本最優秀鳩舎賞の対象レースになっている事もあって挙って参加します。700Kレースにもなると参加羽数もだいぶ減ります。放鳩地は北海道の森という所から放鳩します おおよそ10時間前後で帰還します。鳩レースの醍醐味は 何と言っても津軽海峡を渡ってのレースです。ここまでは前回掲載とほぼ同じようです 津軽海峡は凄い海ですね。波は荒いし 南風が強い 特に春レースで700K・800K・1000K・1100Kの時期ともなると4月～5月は南風になるんです。運良く北風の展開になれば鳥も楽に帰還できますし、帰還率も高くなりますがひとたび南風の展開になると帰還率10%以下になる過酷なレースです。このことも動物愛護団体から非難を受けています。なにせ1万羽からの参加で

50羽位しか帰還できないこともありますから まあこの辺もまたまた前回と同じですね。(笑)

話はハル7号に戻りますがこの鳥も前回掲載させて頂きました。レジェンドM・U氏とK・M氏(ケンちゃん)の共同作出鳩で ♂方がM・Uさんのワンダー77号直子系に師匠K・Mさんのエンゲルス300系です。もともと両氏のとび筋でM・Uさんに至っては最後の挑戦ともいうべき気持ちで鳥を導入されたという経緯もありかなり力がはいついていました。既にM・Uさんの弟子で他連合会のH氏が700K地区ナショナルレースに於いてこの系統の筋で総合優勝を果たしておりましたので尾ヶ井鳩舎もという期待がありましたね その親鳥の名がワンダー77号といます。♂親鳩はワンダー77号とビクマック号の子でした。

これからはこの鳥をワンダーと呼びますが 作出者はオランダ鳩界ではやはりレジェンドです。その名はアド・スカーラケンスさんといいます。一度M・Uさんの家に来たそうです写真がありました 短距離系が主体でオランダ鳩界では素晴らしい成績を残しています。 いずれまた詳しい紹介もしたいと思います 鳩の飼育者の中でベルギー オランダでは沢山有名人がいますので少しずつ紹介したいと思います。私の師匠K・M氏(ケンちゃん)の♀方は師匠が一番飛び筋と選んでいますエンゲルス300号が絡んでいます。最近の師匠の主力系統は特に長距離系に凝っているみたいですが、今まではエンゲルス系で沢山の鳥を集めていましたし成績も良かったのにどうして入れ替えたのかがちょっとわたしには理解しがたくよくわかりません、今まで通りの鳥でいいと思いますが 何か思うところがあるのでしょうか、けっこう優柔不断で人の言うことを聞きません しかしながらこののちにエンゲルス系でグランドナショナル1100Kレース(稚内放鳩)埼玉連盟総合優勝と関東一円で総合2位という成績を収めました。やっぱりエンゲルス系でしたね 名付けてミムラGN号です それから2年後ミムラGN号が盗まれました 未だ犯人は見つかりません何処の心無い者が盗んだのでしょうか 今でもいるのですね泥棒が また師匠K・M氏の鳩舎は畑の真ん中で無人の為何回となく泥棒さんがやってきます 一度泥棒さんの顔が映っていましたが心当たりがありません 番犬を飼ったり鍵をかけた今ではアルソックに警備を頼む始末ですので大変ですそれでも鳩飼育を諦めないのは何故でしょう私には解りませんが多分?????でしょう。

まあ～師匠ケンちゃんの紹介はちょっとのページじゃ語れませんので

天然系だし大変気持ちの良い人には違いないのですが、一言で言えば鳩馬鹿・きちがいの部類ですかね

それでも私の鳩レースの原点とも言える友人ですから感謝しています 本人曰く尾ヶ井さんは都合のいい時だけ師匠・師匠って持上げて普段はくそみに

けなすうんですよってある知り合いに言っているみたいです。(笑)